

●一斉学習 ■同時進行型

堺市立深井西小学校
小笹 雅章／米田 奈緒子

実践タイトル 撮影画像をもとに俳句を作ろう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

その他(教育用DS) ・一人ひとりが、進んで学習に取り組むことができる。

静止画(教育用DSで撮影) ・一人ひとりが、進んで学習に取り組むことができる。

参考にしてほしいポイント

- ・教育用DSを修学旅行に持っていき、活動風景を撮影、オリジナルの教材として活用。
- ・修学旅行の思い出を考え一人ひとりが俳句を作り、教育用DSの書き込み機能を活用して、写真に書き込み作品を完成する。
- ・電子黒板に作品を提示して交流発表する。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認する。 ・教育用DSで撮影してきた修学旅行の活動の様子を見ながら、修学旅行を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・実物投影機 ・教育用DS教室システム ・教育用DS(写真1)
展開 10 35	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の活動から俳句を考える。 ・教育用DSから写真を選ぶ。 ・選んだ写真に俳句を書き込み、先生機へ送信する。 ・でき上がった作品を見せ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板(写真2) ・実物投影機 ・教育用DS教室システム ・教育用DS
まとめ 35 45	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板機能付きデジタルテレビで、作品を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板(写真3) ・実物投影機 ・教育用DS教室システム ・教育用DS



写真1: 教育用DSに俳句を書き込む

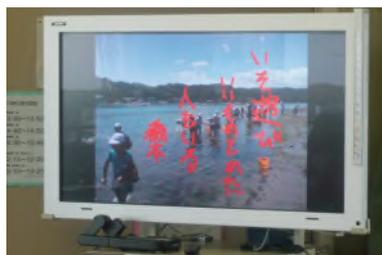


写真2: でき上がった作品を電子黒板で紹介



写真3: 作品の紹介交流

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・教育用DSが一人1台あることにより、学習に取り組む児童は、素晴らしく集中することができた。
- ・機器に対するスキルも難しくなく、児童相互に情報を交流しながら、学習を進めることができた。

活用効果

評価の観点 ・関心・意欲・態度

具体的変容

・俳句を作ることに對して、進んで取り組むことができた。写真を用意したことにより、作品作りの手助けともなった。

実践の手応え

- ・児童は、教育用DSに対する興味が強く、進んで集中して学習に取り組むことができた。